

海外日本語教師短期研修

(夏期／冬期)

※日系人特別枠含む

2018 (平成 30) 年度用

申請要領

1. 趣旨

本プログラムは、海外の日本語教育機関の教師養成のため、日本語教師として2年以上の教授経験を持つ日本語教師を対象に、日本語教授能力の向上、日本語運用力の向上及び異文化理解能力の養成を目的として、研修を行います。実施は夏期と冬期の2回です。

また、「海外日本語教師短期研修 (冬期)」に、中南米地域の日系人対象の日本語教育機関で教える日系人日本語教師向けの【日系人特別枠】を設けています。「日系人特別枠について」(P.2)をご参照ください。

2. プログラム概要

(1) 期間

研修は次の二つの時期にそれぞれ行います。なお、希望通りの時期で採用されない場合もあります。

[夏期]：2018年6月26日～8月20日 (予定)

地方研修に参加しない場合：2018年6月26日～8月16日 (予定)

[冬期]：2019年1月9日～3月5日 (予定)

地方研修に参加しない場合：2019年1月9日～3月1日 (予定)

(2) 実施場所

国際交流基金日本語国際センター (埼玉県さいたま市)

(3) 研修内容

ア 授業

来日後のプレースメントテストの結果により、次の二つのコースに分けて授業を行います。

< Aコース >

このコースは、日本語によるコミュニケーション能力の向上を重視します。日本語の授業では、日常的な場面のみならず、より広範な場面、トピックを扱えるようになることを目標とします。また、教授法の授業では、基本的な内容を確認し、具体的な授業の目標の立て方や教室活動に取り組みます。

< Bコース >

このコースは、教師としての専門能力の向上を重視します。日本語の授業では、日常会話のみならず説明、叙述、議論等、より高度な日本語運用力をつけることを目標とします。教授法の授業では、講義やワークショップを通じて、教授法の基礎知識の導入・整理・拡充を行いながら、各参加者の現場での活かし方を具体的に検討します。

(授業時間数例)

	Aコース	Bコース
日本語	65～70時間	50～55時間
日本語教授法	35～40時間	50～55時間
日本文化・日本事情	25～30時間	
その他 (プレースメントテスト、PC講習等)	15～20時間	

イ 日本文化体験プログラム (例)

地域との交流 (学校訪問等)、茶道等のデモンストレーション、演劇鑑賞等。ホームステイ、地方研修など選択制のプログラムもあります。

(4) 採用予定人数

約72名 (夏期・冬期合わせて)

3. 申請資格

海外で日本語教育を行う教育機関（個人からの申請は受け付けません）。

※対象地域：全世界。（香港・マカオ地域以外の中国については、高等教育機関（大学・大学院）のみ申請可です。）

また、参加候補者は、次に掲げる要件を全て満たしていなければなりません。

- (1) 申請機関と雇用関係にある日本語教師で帰国後も当該機関に引き続き勤務することが決定していること。なお、申請時点で日本語教師として教育実習中の者は対象としません。
- (2) 日本と国交のある国の国籍を有すること。 ※台湾の方も申請可能です。
- (3) 日本の義務教育（小学校・中学校9年間）を修了していないこと。
- (4) 2017年12月1日時点で、満56歳未満であること。
- (5) 心身ともに研修プログラムへの参加に支障がない状態であること。
- (6) 2017年12月1日時点で、2年以上の日本語教授歴を持つこと。（個人教授及び教育実習の期間は除きます。）
- (7) 申請時点で日本語能力試験N4又は旧日本語能力試験3級程度以上の日本語能力を有していること。（日本語能力試験の各レベルの認定の目安は日本語能力試験公式ウェブサイトの「N1～N5：認定の目安」<http://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>を参照）。（*1）
 - (*1) 今までに日本語能力試験を受験したことのない参加候補者は、本申請要領に別添された日本語力自己診断テストを自分で解いて、その採点結果を申請書の所定の欄に記入してください。記入がない場合は、申請が無効になる場合がありますので、注意してください。
- (8) 2012年4月から2017年12月1日までに国際交流基金、日本の大学等において50日間以上の日本語教師研修を受講していないこと（「海外日本語教師短期研修」を含む）（*2）。
 - (*2) ただし、「JENESYS（21世紀東アジア青少年大交流計画）東アジア若手日本語教師特別招へい研修プログラム」参加経験者は申請することができます。また、「海外日本語教師長期研修」において、「日本語国際センター所長賞」を受賞した方に対しては、本制限条項の適用を免除します。該当者は申請書提出の際に、所長賞受賞通知のコピーを添付してください。

【日系人特別枠について】

次の申請資格に該当する教師が対象になります。

＜申請資格＞

- 申請資格対象国（アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、コロンビア、ドミニカ共和国、メキシコ、パラグアイ、ペルー、キューバ、ウルグアイ、ベネズエラ）で日系人を対象に日本語教育を行う教育機関。
- また、参加候補者は、次に掲げる要件を全て満たしていなければなりません。
- ア 申請機関と雇用関係にある日本語教師で帰国後も当該機関に引き続き勤務することが決定していること。なお、申請時点で日本語教師として教育実習中の者は対象としません。
 - イ 対象国若しくは日本の国籍を有し、生活の基盤が対象国にあること。
 - ウ 日本からの海外移住者又はその子孫（おおむね日系3世まで）であること。
 - エ 2017年12月1日時点で、満56歳未満であること。
 - オ 心身ともに研修プログラムへの参加に支障がない状態であること。
 - カ 2017年12月1日時点で、1年以上の日本語教授歴を持つこと（個人教授及び教育実習の期間は除きます）。
 - キ 申請時点で日本語能力試験N4又は旧日本語能力試験3級程度以上の日本語運用力を有していること（日本語能力試験の各レベルの認定の目安は日本語能力試験公式ウェブサイトの「N1～N5：認定の目安」<http://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>を参照）。
 - ク 2012年4月から2017年12月1日までに国際交流基金や日本の大学等において50日間以上の日本語教師研修（「海外日本語教師短期研修」を含む）を受講していないこと。

4. 支給内容

- (1) 宿舍（国際交流基金日本語国際センター内のシングルルーム、地方研修中は相部屋の可能性あり）
- (2) 研修期間中の食事（一部は現金支給）
- (3) 研修に参加するための必要経費（教材等を現物で支給）
- (4) 研修参加に必要な期間中の疾病及び傷害に対する海外旅行保険の付保（補償額の上限あり。既往症や歯科治療等は当該保険の適用対象外）。
- (5) [表 1]に掲げる地域にある申請機関に所属する方については、以下ア～ウを国際交流基金が負担します。
[表 1]以外の地域、及び例外欄に記載のある国・地域に所属機関がある方は、参加者本人の負担となります。
ア 往復航空券（エコノミークラス割引運賃、居住地最寄り国際空港発着）
イ 出国税・空港利用税
ウ 研修補助費（来日中の自主研修に必要な公共交通機関の交通費等を現物で支給）

[表 1]

地域	例外の国・地域
アジア・大洋州地域	ただし、韓国、台湾、香港、マカオ、シンガポール、ブルネイ、オーストラリア、ニュージーランドを除く
中南米地域	ただし、セントクリストファー・ネイビス、トリニダード・トバゴ、パハマ、バルバドスを除く
東欧地域	(例外なし)
中東・北アフリカ地域	ただし、アラブ首長国連邦、イスラエル、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、バーレーンを除く
アフリカ地域	(例外なし)

5. 審査方針

当該国・地域・機関での日本語教師研修の必要性、申請機関が「さくらネットワーク」の認定機関であるか、候補者の日本語運用力、教授経験の他、候補者のポジション（専任/非専任）、影響力等の観点から審査します。

(※)「さくらネットワーク」については、以下のウェブサイトを参照してください。

<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/education/network/>

6. 申請手続

(1) 申請書類

申請書は全部で8ページです。申請書の原本とそのコピー1部を、それぞれホッチキス留めをして、提出してください。申請書に不備がある場合は、審査対象とはなりませんので注意してください。

(2) 申請書提出先と締切

2017年12月1日（必着）までに、最寄りの国際交流基金海外拠点、又は日本国大使館や総領事館等の在外公館に提出してください。台湾は、(公財)日本台湾交流協会の台北事務所に提出してください。e-mailやFAXでの提出はお受けしていません。

(3) 留意事項

ア 申請書はタイプ又は黒のボールペンを用いて活字体で記入してください。

イ 申請書は、「英語」や「原語」等の指示があるところ以外は日本語で記入してください。また、記入にあたって「候補者」部分は、候補者が他の人の助けは借りず、自分の力だけで書いてください。

ウ 提出された申請書類は返却いたしません。申請書を提出する際には、必ず申請者用のコピーをお手元に残しておいてください。

エ 申請書類提出後、記入内容に変更が生じた場合には、速やかにお知らせください。

7. 結果通知

- (1) 国際交流基金日本語国際センターで審査を行い、2018年4月中に結果を各申請者に通知します。
- (2) 採否理由等についてのお問合せには一切応じられませんので、ご了承ください。

8. 採用実績（参考）

採用72名／応募223名（2017（平成29）年度）

※「日系人特別枠」：採用2名／応募2名（2017（平成29）年度）

9. 研修参加者の義務

研修参加者は以下の条件を守らなければなりません。

- (1) 日本滞在中は日本国法令を守ること。
- (2) 研修に専念し、日本滞在を他の目的（宗教的あるいは政治的目的等）に利用しないこと。
- (3) 研修参加者は、集団での研修に参加することを前提に招へいされたことを理解し、国際交流基金日本語国際センターの指示に従って、全ての研修活動に参加すること。
- (4) 研修期間の開始より前に来日しないこと。
- (5) 研修期間中に一時帰国や第三国への旅行をしないこと。
- (6) 国際交流基金日本語国際センターが滞在延長を許可した場合を除き、研修期間が終わり次第、直ちに帰国すること。
- (7) 家族を同伴しないこと。

10. 事業に関する情報の公開

- (1) 採用された場合、申請者・団体の名称、事業の概要等の情報は、国際交流基金事業実績、年報、ウェブサイト等において公表されます。
- (2) 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」（平成13年法律第140号）に基づく開示請求が国際交流基金に対してなされた場合には、同法に定める不開示情報を除き、提出された申請書類は開示されます。

11. 個人情報の取扱い

以下の内容を、申請機関から候補者にお伝えくださいますようお願いいたします。

- (1) 国際交流基金は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第59号）を遵守し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。国際交流基金の個人情報保護への取組については、以下のウェブサイトをご覧ください。
<http://www.jpf.go.jp/j/privacy/>
- (2) 申請書及び添付書類に記入された情報は、採否審査、事業実施、事後評価等の手続のほか、次のような目的で利用します。これらの個人情報の利用については、申請機関より候補者にもお知らせくださるようお願いいたします。
 - ア 研修参加者の氏名、性別、職業・肩書、所属先、事業期間、事業内容等の情報は、研修実施案内に公表するほか、国際交流基金の事業実績、年報、ウェブサイト等の公表資料への掲載、統計資料作成に利用されます。また、国際交流基金事業の広報のため、報道機関や他団体に提供することがあります。
 - イ 採用者の居住する国の日本国大使館・総領事館等の在外公館及び日本国外務省にも、査証発給のため、これらの情報を提供することがあります。
 - ウ 申請書、添付書類及び事業報告書・成果物などは、採否審査、事後評価等のため、外部有識者等の評価者に提供することがあります。提供する際、評価者の方には、個人情報の安全確保のための措置を講じていただくようにしています。
 - エ 事業終了後に、本件事業に関するフォローアップのためのアンケートをお願いする場合があります。
 - オ 記入される連絡先に、他の国際交流基金事業についてご連絡を差し上げることがあります。
- (3) 国際交流基金に提出された事業報告書・成果物などは、国際交流基金事業の広報のため、公開することがあります。
- (4) 研修実施のため、渡航手配や研修プログラムに協力を得る関係者（保険会社及びその代理店、航空会社、自治体等）に、必要な範囲で情報を提供します。
- (5) 本研修に応募された方は、上記目的での個人情報の利用に同意したものとみなします。

12. 問合せ先

日本語国際センター教師研修チーム Tel. +81-48-834-1182 Fax. +81-48-834-1170
e-mail: urawakenshu@jpf.go.jp

*申請書のフォーマットは、次のウェブサイトから入手可能です。

<http://www.jpf.go.jp/j/program/index.html>

13. その他備考

本公募研修以外に、非公募による国・地域別日本語教師研修として、当該国政府、国際交流基金海外拠点、日本国大使館や総領事館等の在外公館等からの推薦により参加を決定する以下の研修も実施しています。詳細については、各国の国際交流基金海外拠点にお問い合わせください。

- (1) 「大韓民国中等教育日本語教師研修」
- (2) 「中国中等学校日本語教師研修」

添付資料

日本語力自己診断テスト

申請書作成上の注意

全体的な注意事項

1. 申請書のフォーマットは、次のウェブサイトから入手可能です。申請書は全部で8ページです。
<http://www.jpf.go.jp/j/program/index.html>
2. 申請書の原本及びそのコピー1部を、それぞれホッチキス留めをして、提出してください。申請書に不備がある場合は、審査対象とはなりませんのでご注意ください。
3. 最寄りの国際交流基金海外拠点又は日本国大使館や総領事館等の在外公館に提出してください。台湾は、(公財)日本台湾交流協会の台北事務所に提出してください。e-mailやFAXでの提出はお受けしていません。
4. 申請書の提出期限は2017年12月1日(必着)です。できる限り余裕を持って提出するようにしてください。
5. 提出された申請書類は返却いたしません。申請書を提出する際には、必ず申請者用のコピーをお手元に残しておいてください。
6. 申請書の受理通知を希望する場合は、はがきに返信用切手を添付の上、住所、氏名、プログラム名、受理通知を希望する旨を記載して、申請書に同封してください。国際交流基金海外拠点若しくは日本国大使館や総領事館等の在外公館の担当者が申請書を受理したことを証するために、署名して返送します。ただし、返信用切手が貼っていないもの、必要事項が記載されていないものは返送できませんので、ご注意ください。
7. 申請書類提出後、記入内容に変更が生じた場合には、速やかにお知らせください。

申請書記載要領

- (1) 申請書はタイプ又は黒のボールペンを用いて活字体で記入してください。
- (2) 申請書は、「英語」や「原語」等の指示があるところ以外は日本語で記入してください。また、記入にあたって「候補者」部分は、候補者が他の人の助けは借りず、自分の力だけで書いてください。
- (3) 日本語能力試験を過去に受験したことのない候補者は、必ず本申請要領に添付された「日本語力自己診断テスト」を自分で解き、その採点結果を申請書の所定の欄に記入してください。記入がない場合は、申請が無効になる場合がありますので、注意してください。

**海外日本語教師短期研修
申請書**
**Short-Term Training Program for Teachers of the Japanese-Language
Application Form**

※日系人特別枠を含む (including the "Special Quota for Teachers of the Japanese-Language for Japanese descendants")

申請書を国際交流基金の海外拠点又は日本国大使館や総領事館等の在外公館にご提出ください。台湾所在の機関は(公財)日本台湾交流協会の台北事務所にご提出ください。国際交流基金本部・附属機関では海外からの申請を受け付けません。インターネットや e-mail による申請書の提出は受け付けません。申請書は、活字体でご記入ください。なお、申請書に記入される個人情報の利用目的については、申請要領の「11.個人情報の取扱い」をご覧ください。

Applications should be submitted to the Japan Foundation office in your country or Japanese diplomatic mission of Japan. In Taiwan, applications must be submitted to the Japan-Taiwan Exchange Association, Taipei office. The Japan Foundation Headquarters in Tokyo and affiliated organizations will not accept applications from overseas applicants. Applications will not be accepted through the Internet or by e-mail. This application form should either be printed or written using block letters. For details on the use of personal information included in the application form and attached documents, please see "11. Handling of Personal Information" in the Application Instructions.

国際交流基金日本語国際センター所長殿
To the Director of the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa

_____年 ____月 ____日
Year Month Day

私は平成 30 年度海外日本語教師短期研修に下記の者を参加させたく申請いたします。
I hereby elect the person named below to participate in the 2018-2019 Short-Term Training Program for Teachers of the Japanese-Language.

機関名 _____ 代表者署名 _____
Name of Institution Signature of the Representative of the Institution

代表者氏名 _____
Name of the Representative of the Institution

海外日本語教師短期研修 SHORT-TERM TRAINING PROGRAM FOR TEACHERS OF THE JAPANESE-LANGUAGE

※ () に優先順位の番号 (1, 2) を書き入れてください。希望通りの時期で採用されない場合もあります。
Please indicate the order of your preference (1 or 2). Please note that the Institute may be obliged to offer a course other than your preference.

() 夏期 Summer Course () 冬期 Winter Course

日系人特別枠への申請は次を✓してください。Please check ✓ if you apply for the special quota for Japanese descendants.
() 冬期・日系人特別枠 Winter Course / Special quota for Japanese Descendants

候補者 (以下は候補者が記入のこと)
CANDIDATE (The following form should be filled in by the candidate.)

氏名 Name	漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana	姓 Last Name	名 First Name			
	英語 In English alphabet	Last Name	First Name			
	パスポートに記載の表記 Name as written on your passport in English alphabet					
性別 Sex	生年月日 Date of Birth	19 年 ____ 月 ____ 日 Year Month Day	年齢 Age	2017 年 12 月 1 日現在 As of December 1, 2017	国籍 Nationality	歳
連絡先 (ローマ字) Contact (in English alphabet)						
住所 Address						
Tel.		FAX		e-mail		

	所属日本語教育機関名 Affiliated Institution	部門名 Faculty/ Department/ Program, etc.	地位 Position	専任/非専任 Full time or Part time
漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana				<input type="checkbox"/> 専任 Full time
英語 In English				<input type="checkbox"/> 非専任 Part time
原語 In Native Language				
所属日本語教育機関住所 Address of Affiliated Institution				
Tel. _____ FAX. _____				
機関 ID ID of affiliated institution				
※日本語教育機関検索データベース (https://jpsurvey.net/jfsearch/do/index) にて所属機関の機関 ID を確認の上、記入してください。 所属機関が同データベースへ未登録の場合は記入不要です。 *The ID of affiliated institution can be found on the "Search engine for institutions offering Japanese-language education" (https://jpsurvey.net/jfsearch/do/index). No need to fill this column if your affiliated institution is not registered on the "Search engine".				
最終学歴 Last school attended	機関名 Name of institution		取得地 Location	
	取得年 Year of completion	学位 Degree conferred	専攻 Major	
学位取得論文タイトル (修士号、博士号を取得の場合には必ず記入してください) Thesis title (Required for applicants who have obtained their Masters or Doctoral degrees)				

さくらネットワークに所属していますか?
Do you belong to organizations of the **Sakura Network**?
For "Sakura Network", please visit the following website; <https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/education/network/> (Japanese)
<https://www.jpff.go.jp/e/project/japanese/education/network/> (English)

はい Yes
⇒ さくらネットワークメンバー (機関、団体) 名 : _____
Name of the Sakura Network member : _____
(institution, organization, etc.)

いいえ No

日本で義務教育を修了しましたか? はい Yes いいえ No
Did you complete your compulsory education in Japan?

日系人特別枠の申請者で日本語の母語話者の方は、*印の欄を記入する必要はありません。
 Applicants of special quota for Japanese descendants who are native Japanese speakers need not to fill in the columns with *.

* 日本語学習歴 Previous Japanese language study	期間 Term	総時間 Total Hours	機関名 Institution		使用教材 Textbook
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
日本以外での 日本語教師研修受講歴 (国際交流基金海外拠点による研修を含む) Training programs for Japanese language teachers undertaken outside of Japan, including programs of the Japan Foundation	期間 Term	総時間 Total Hours	機関名 Institution		使用教材 Textbook
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
日本語教授歴 Japanese language teaching experience	期間 Term	機関名 Institution	対象者 Students in class		使用教材 Textbook
			年齢 Age	レベル Level	
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
合計 In total 年 か月 Years Months	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
現在の担当科目 Japanese classes currently taught	科目名 Subject Taught	対象者 Students in class		担当時間数 (週・年) Loading Hours Week/Year	使用教材 Textbook
		年齢 Age	人数 Number		
				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	
				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	
日本語以外の担当科目 Subjects currently taught aside from Japanese				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	
				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	

* 日本語能力試験 Japanese-Language Proficiency Test (JLPT)	受験年 Test Year	JLPT 取得級 Passing Grade (Level) <input type="checkbox"/> N1 <input type="checkbox"/> 1 級 <input type="checkbox"/> N2 <input type="checkbox"/> 2 級 <input type="checkbox"/> N3 <input type="checkbox"/> 3 級 <input type="checkbox"/> N4 <input type="checkbox"/> 4 級 <input type="checkbox"/> N5	認定番号 Certificate Number
* 日本語力自己診断テスト結果 Score from the Japanese Proficiency Self-Check Test attached to this application form	文字・語彙 Writing-Vocabulary <div style="text-align: right;">/25</div>	読解・文法 Reading-Grammar <div style="text-align: right;">/40</div>	合計 Total <div style="text-align: right;">/65</div>
日本滞在歴 (国際交流基金及び国際協力機構での研修を含む) Previous stay in Japan including Training Programs at the Japan Foundation and/or the Japan International Cooperation Agency (JICA) 留学の場合は、留学先の機関を明記してください If you have studied in Japan, be sure to specify the name of institutions.	期間 Term	日数 Days	滞在目的・受けたグラント・当センター研修等 Purpose; Grant Received, Training Programs at the Institute (if any)
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)		
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)		
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)		

授業以外での日本語教育への貢献 Your contribution to Japanese language teaching outside of class activities

授業以外での日本語教育への貢献があれば具体的に記入してください。(例：開発した教材、日本語教育についての学会・セミナー発表、日本語教師会等での活動歴等)

Please write in the space below, if you are making (or have made) a contribution to Japanese language teaching in your country outside of class activities (For example, teaching materials that you have developed, papers on Japanese language education that you have presented at academic conferences or seminars, your involvement in the Association of Japanese Language Teachers or other activities).

日本語の運用力について Your Japanese proficiency

自分に当てはまると思う項目全てに✓をつけてください。Please check ✓ all items that apply to your Japanese proficiency.

<p>聞く Listening</p>	<p>□幅広い話題の議論や専門の講義もあまり問題なく理解できる。 I have no difficulty understanding discussions about a wide range of topics and specialized lectures.</p> <p>□いろいろなトピックのニュース、映画の内容がほとんど理解できる。 I can understand most movies and TV news covering a variety of topics.</p> <p>□仕事や生活の場面でよく話題にのぼる話やテレビ番組の内容がだいたい理解できる。 I can understand most discussions on familiar matters regularly encountered in work and daily life, and the content of TV programs.</p> <p>□自分の仕事や生活に関してよく使われることばや表現を聞いて理解できる。 I can understand phrases and expressions frequently used in relation to my work and daily life when I hear them.</p> <p>□ゆっくり話してもらえば、自分のことや生活などに関してよく使われることばや基本的なことばが理解できる。 I can recognize basic phrases and familiar words concerning myself and daily life when people speak slowly.</p>
<p>読む Reading</p>	<p>□自分の専門に関する長い論文や複雑な小説の内容が理解できる。 I can understand the contents of complex novels and long essays related to my field of specialization.</p> <p>□書いた人の意見や立場がわかる記事やレポート、簡単な小説が理解できる。 I can understand articles and reports in which the writers express particular attitudes or viewpoints. I can understand simple novels.</p> <p>□身近な話題について書かれた、決まった形の文章や手紙が理解できる。 I can understand texts and letters that consist mainly of common everyday language and which relate to familiar topics.</p> <p>□短い、簡単な文が理解でき、必要なものや時間などの大事な情報を探することができる。 I can understand short, simple texts. I can find important, required information, such as time.</p> <p>□メニューやウェブサイトなどを見て、よく知っているものや人の名前、簡単なことばがわかる。 When I look at materials, such as menus and websites, I can understand familiar items and names, as well as simple phrases.</p>
<p>話す Speaking</p>	<p>□研究会などで専門的な話題や複雑な話題について論理的な構成で話すことができる。 At seminars and other events, I can talk about specialized subjects and complex subjects using a logical structure.</p> <p>□関心のある内容について、くわしく説明したり意見やその理由を言うことができる。 I can present detailed descriptions and my viewpoint, and give reasons for my opinions on subjects related to my fields of interest.</p> <p>□経験やこれからの予定、やりたいことなどを、基本的な接続のことばを使って説明することができる。 I can connect phrases in a simple way in order to describe my background, future plans and ambitions.</p> <p>□家族や周囲の人々のこと、これまでの経験などを簡単なことばや文で説明することができる。 I can use simple phrases and sentences to describe my family and other people around me, as well as my background.</p> <p>□自分やよく知っている人について簡単なことばで話すことができる。 I can use simple phrases to talk about myself and people I know well.</p>
<p>会話する (やりとり) Oral interaction</p>	<p>□人間関係に配慮しながら、様々な立場の人となめらかで自然な会話や議論ができる。 I can participate in conversations and discussions smoothly and naturally with people from various walks of life, with consideration for interpersonal relations.</p> <p>□いろいろな話題の会話に途中から入って、自分の意見を言ったり普通にやり取りができる。 I can enter unprepared into conversation on a variety of topics, presenting my own views and interacting normally with people.</p> <p>□日常生活の様々な場面で、家族、趣味、仕事など身近な話題の会話を続けることができる。 I can sustain conversations on familiar topics relating to my family, hobbies, and work, within various social settings in daily life.</p> <p>□自分のことや仕事などについて、簡単に具体的な情報のやりとりができる。 I can communicate simple and concrete information related to myself and my work.</p> <p>□相手がゆっくり話してくれれば、自分のことについて簡単なやりとりができる。 When the other party speaks slowly, I can participate in simple communication about myself.</p>
<p>書く Writing</p>	<p>□重要だと思う点を強調した複雑な内容を、読む人にわかりやすい構成にして、手紙や論文が書ける。 I can write letters and essays with a structure that highlights significant points, and which helps the recipient to understand complex content.</p> <p>□興味のあるいろいろな話題について、読む人にわかりやすく、くわしく説明したり自分の意見やその理由を書くことができる。 I can write clear, detailed texts on various subjects related to my interests, explaining my views and giving reasons to support my opinions.</p> <p>□自分の関心のある話題や旅行での経験や印象などを、短いまとまった文章で書くことができる。 I can write short summaries on topics of personal interest, or descriptions of travel experiences and impressions.</p> <p>□簡単な内容の伝言や、友達への短い手紙を書くことができる。 I can write simple messages and short letters to friends.</p> <p>□誕生日や新年などの時、「おめでとう」「ありがとう」などの決まったあいさつのカードを書くことができる。 For occasions, such as birthdays and the New Year, I can write cards with specific greeting messages, such as "Congratulations" and "Thank you."</p>

かいがい にほんご きょうしけんしゅうしんせいしよふぞく
海外日本語教師研修申請書付属

Attachment of application form for
training programs for teachers
of the Japanese-Language

にほんごりよくじこしんだん
日本語力自己診断テスト

Japanese Proficiency Self-Check Test

これはあなたの日本語力を正しく測るためのテストです。

* 問題用紙の最初にある注意を守ってやってください。

* 辞書や教科書を見ないで、一人でやってください。

* テストを受けるのは一回だけです。

正しいテスト結果でないことがわかった場合、採用されていても取り消
されることがあります。

2018

もんだい ようし
問題用紙
Question Sheet

ちゅうい
注意 Instruction

- (1) 辞書じしょ や 教科書きょうかしょ を見ないで、一人でやってください。

You are strictly requested to work alone without using any dictionaries and references.

- (2) 問題もんだい は、「文字・語彙もじ ごい」(p.3～p.5)と「読解・文法どっかい ぶんぽう」(p.6～p.8)があります。

The test consists of “Writing - Vocabulary” (p.3 ~ p.5) and “Reading - Grammar” (p.6~p.8)

「文字・語彙もじ ごい」は 15 分 以内い ない、「読解・文法どっかい ぶんぽう」は 20 分 以内い ないに 問題もんだい に 答こたえてください。

The time limit is 15 minutes for the “Writing - Vocabulary” test and 20 minutes for the “Reading - Grammar” test.

- (3) 答こたえ は 解答用紙かいとうようし (p.9 と p.10)に書いてください。「文字・語彙もじ ごい」と「読解・文法どっかい ぶんぽう」の 解答用紙かいとうようし がそれぞれ1まいずつあります。

Write down your answers on the answer sheet (p.9 and p.10), one page each for the “Writing - Vocabulary” test and the “Reading - Grammar” test.

- (4) ぜんぶ 終わったら「解答かいとう」(p.12とp.14)を見て、自分で採点さいてん してください。「文字・語彙もじ ごい」は 25点 満点てんまんてん、「読解・文法どっかい ぶんぽう」は 40点 満点てんまんてん です。

Check your answers on your own using the “Answer” sheets (p.12 and p.14) after completion of the test. The full score is 25 points for the “Writing - Vocabulary” test and 40 points for the “Reading - Grammar” test.

- (5) 採点さいてん したら、点数てんすう を 申請書しんせいしょ 4 ページに書いてください。

Calculate your test score and write it down in the space on the second page 4 of the application form.

もじ ことば
文字・語彙 Writing – Vocabulary (25点 15分)

もんだい
問題Ⅰ _____ のことばは どう読みますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを一つ えらびなさい。(1×6)

れい にちようび
(例) 日曜日に 洋服を 買いました。

洋服 1 よふく 2 ようふく 3 よそう 4 ようそう

問1 (1)台風は、いま、日本の (2)東にあります。

(1)台風 1 たいふ 2 たいふう 3 だいふ 4 だいふう

(2)東 1 ひがし 2 にし 3 きた 4 みなみ

問2 (1)姉と いっしょに (2)旅行へ 行きました。

(1)姉 1 あに 2 あね 3 おとうと 4 いもうと

(2)旅行 1 りようこ 2 りよこ 3 りよこう 4 りょうこう

問3 おばあさんは (1)近くに すんで いますから、まいにち (2)会えます

(1)近く 1 はやく 2 ほそく 3 ひろく 4 ちかく

(2)会えます 1 みえます 2 いえます 3 あえます 4 かえます

もんだい
問題Ⅱ _____ のことばは 漢字をつかって どう書きますか。
1・2・3・4 から いちばんいいものを一つえらびなさい。(1×5)

(例) パーティーの りょうりは おいしかった ですね。

りょうり 1 食事 2 食物 3 飲物 4 料理

問1 ひるごはんを 食べたら、先生の (1)けんきゅうしつに (2)しつもんに 行きます。

(1)けんきゅうしつ 1 教研究室 2 教学院 3 研究室 4 大学院

(2)しつもん 1 話題 2 質問 3 出席 4 聞分

問2 友だちに (1)あかい ペンを (2)かりました。

(1)あかい 1 青い 2 赤い 3 白い 4 黒い

(2)かりました 1 買りました 2 貸りました 3 変りました 4 借りました

問3 ここで (1)まってください。

(1)まって 1 時って 2 持って 3 特って 4 待って

問題Ⅲ _____のところに何を入れますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを一つ えらびなさい。(2×3)

(例) テレビの _____の中で スポーツが いちばん すきです。

1 ひつよう 2 よやく 3 よほう 4 ばんぐみ

問1 みなさん、このかみを 1まい _____とってください。

1 まで 2 ずつ 3 しか 4 ごと

問2 明日は ^{あした}テストがあります。_____勉強して います。

1 それで 2 それに 3 それでも 4 それから

問3 わたしの 先生は _____人です。

1 ねむい 2 きびしい 3 みじかい 4 にかい

問題Ⅳ _____の ^{ぶん}文と ^{おな}だいたい 同じ いみの 文は どれですか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを一つ えらびなさい。(2×2)

(例) きのうは 先生の おたくに うかがった。

- 1 きのうは 先生に わからないことを 聞いた。
- 2 きのうは 先生に ごちそうに なった。
- 3 きのうは 先生の ^{いえ}家に行った。
- 4 きのうは 先生に しまられた。

問1 A:「あさって、やすませて いただけませんか」

B:「あさってですか。かまいませんよ。」

- 1 休んでは こまりますよ。
- 2 休んでも いいですよ。
- 3 休まないで ください。
- 4 休まないほうが いいですよ。

問2 A:「日本に いる 間に どこに 行って みたいですか。」

B:「きかいが あれば、北海道ほっかいどうが いいですね。」

- 1 北海道には 行ったことがあるから 行かなくていい。
- 2 北海道には 行きたい ところがあるから 行くつもりだ。
- 3 北海道に 行きたいが、行けるかどうか わからない。
- 4 北海道に 行きたいので、きかいを しらべている。

問題V つぎの(1)、(2)の ことばの つかいかたで いちばん いい ものを したの 1・2・3・4から 一つ えらびなさい。(2×2)

(例) おおい

- 1 日本には おおい 外国人が すんでいます。
- 2 ここは 車が おおくて あるけません。
- 3 きょうは おおく つかれました
- 4 わたしには おおいの こどもが いて たいへんです。

問1 このあいだ

- 1 このあいだ、あめが ふります。
- 2 このあいだ、あめが ふっています。
- 3 このあいだ、あめが ふりそうです。
- 4 このあいだ、あめが ふりました。

問2 おかげさまで

- 1 A:「こんにちは」
B:「おかげさまで、こんにちは」
- 2 A:「おひさしぶりです」
B:「おかげさまで、ひさしぶりです」
- 3 A:「お元気ですか。」
B:「おかげさまで、元気です。」
- 4 A:「毎日 あついですね。」
B:「おかげさまで、毎日 あついです。」

どっかい ぶんぼう
読解・文法 Reading - Grammar (40点 20分)^{てん}

もんだい
問題Ⅰ () に 何を 入れますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを 一つ えらびなさい。(2×4)

れい あさ
(例) 毎朝、9時() おきます。

1 から 2 に 3 へ 4 で

(1) この りょうりは いい におい() します。

1 が 2 の 3 を 4 で

(2) ここは 夜 10時() すぎると、ほんとうに しずかに なります。

1 に 2 で 3 を 4 から

(3) 父から もらった パソコンを いもうと() こわされました。

1 で 2 が 3 に 4 を

(4) その しごとは、わたし() させてください。

1 は 2 が 3 に 4 を

問題Ⅱ _____ の ところに 何を 入れますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを 一つ えらびなさい。(2×5)

(1) きっぷを _____ ないように してください。

1 なくさ 2 なくす 3 なくせ 4 なくし

(2) かれは いつも おもしろい ことを いて、みんなを _____。

1 わらわれます 2 わらわせます 3 わらいさせます 4 わらわされます

(3) わたしが せんせいの にもつを _____。

1 お持ちます 2 お持ちになります 3 お持ちください 4 お持ちしましょう

(4) ふるい くるまでも、_____ ^か 買います。

- 1 きれいかったら 2 きれかったら 3 きれいだったら 4 きれいなだったら

(5) これは せんせいが わたしに おしえて_____ ことばです。

- 1 くださった 2 さしあげた 3 された 4 いただいた

問題Ⅲ _____ の ところに 何を 入れますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを 一つ えらびなさい。(2×2)

(1) さむいですから、まどを_____ ください。

- 1 あいて 2 あけて 3 しめて 4 しまつて

(2) ここから ^{とうきょう} 東京まで 3時間ですから、3時の 電車に のれば、6時につく_____。

- 1 はずです 2 つもりです 3 ようにします 4 ことにします

問題Ⅳ _____ の ところに 何を 入れますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを 一つ えらびなさい。(3×2)

(1) A:ワインは いかがですか。

B:ありがとうございます。すこし_____。

- 1 めしあがります 2 いただきます 3 さしあげます 4 くださいます

(2) A:きょう、はやく かえらせて いただきたいんですが。

B:どうしましたか。

A:こどもが ^{びょうき} 病気_____。

- 1 から 2 からです 3 なんです 4 なんですから

問題Ⅴ _____ の ところに 何を 入れますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを 一つ えらびなさい。(4×2)

たなか: さとうさん、おはようございます。きょうも さむいですね。

さとう :ほんとうに さむいですね。ほら、あの こどもも、とても_____ (1)_____。

たなか: さむい 日^ひが つづいて いますから、会社^{かいしゃ}でも、かぜを ひいている
人^{ひと}が 多^{おほ}いですね。

さとう : わたしも 先週^{せんしゅう}、かぜを (2) 。

(1) 1 さむいです 2 さむがります 3 さむそうです 4 さむいそうです

(2) 1 ひいておきました 2 ひいてあります 3 ひいたことがあります
4 ひいてしまいました

問題VI つぎの 文を 読んで、下の 1・2・3・4から ただしい ものを 一つ えらびなさい。(4×1)

[かとうさんの日記]

3月2日(火)はれ

今日、社長^{しゃちょう}に こんどの にちようび、パーティを しますから 1時に 家^{いえ}に 来てく
ださいと 言^いわれた。にちようびは 用^{よう}が あるので 少^{すこ}し おそくなるが、2じごろに
は 行^{こた}けると答えた。ほかに さとうさん、たなかさんも 行く よていだ。社長のお
くさんや、お子^あさんたちに 会^あうのは 本^{ほん}当^{とう}に ひさしぶりだ。前の 日に デパート
に 行くので、そのとき ケーキを かって、もっていこうと 思^{おも}う。

- 1 パーティが はじまるのは 2時ごろだ。
- 2 かとうさんは、社長のご家族^{かぞく}に 会^あうのは はじめてだ。
- 3 デパートに 行くのは 金ようびだ。
- 4 パーティに 行くとき、おみやげに ケーキを もっていく つもりだ。

もんだい 問題Ⅰ (1点×6)

例	問1		問2		問3	
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)
2						

問題Ⅱ (1点×5)

例	問1		問2		問3
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)
4					

問題Ⅲ (2点×3)

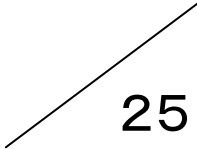
例	問1	問2	問3
4			

問題Ⅳ (2点×2)

例	問1	問2
3		

問題Ⅴ (2点×2)

例	問1	問2
2		

もじ・ごい 文字・語彙の点
 25

もんだい
問題 I (2点×4)

例	(1)	(2)	(3)	(4)
2				

問題 II (2点×5)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問題 III (2点×2)

(1)	(2)

問題 IV (3点×2)

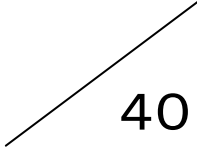
(1)	(2)

問題 V (4点×2)

(1)	(2)

もんだい
問題 VI (4点×1)



どっかい ぶんぼう てん 読解・文法の点
 40

も じ ご い
文字・語彙 Writing-Vocabulary

かいとう
解答 Answer

テストが終わったら、^{うらめん}裏面の解答を見て
^{さいてん}採点してください。

Check your score on your own using answers
on the reverse side of this paper
after completion of the test.

文字・語彙 Writing – Vocabulary 解答 Answer (25点満点^{てんまんてん})

問題Ⅰ (1点×6)
もんだい

例	問1		問2		問3	
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)
2	2	1	2	3	4	3

問題Ⅱ (1点×5)

例	問1		問2		問3
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)
4	3	2	2	4	4

問題Ⅲ (2点×3)

例	問1	問2	問3
4	2	1	2

問題Ⅳ (2点×2)

例	問1	問2
3	2	3

問題Ⅴ (2点×2)

例	問1	問2
2	4	3

どっかい ぶんぽう
読解・文法 Reading-Grammar

解答 Answer

テストが終わったら、裏面の解答を見て
採点してください。

Check your score on your own using answers
on the reverse side of this paper
after completion of the test.

読解・文法 Reading – Grammar 解答 Answer (40点満点)

もんだい
問題Ⅰ (2点×4)

例	(1)	(2)	(3)	(4)
2	1	3	3	3

問題Ⅱ (2点×5)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	2	4	3	1

問題Ⅲ (2点×2)

(1)	(2)
3	1

問題Ⅳ (3点×2)

(1)	(2)
2	3

問題Ⅴ (4点×2)

(1)	(2)
3	4

問題Ⅵ (4点×1)

4
